

第46回全日本都市対抗テニス大会 2023

山間部に大雨の爪痕が残る福岡から高速バスで佐賀市へ。20日（木）午後の公式練習会場へ向かう。SAGAサンライズパークテニスフィールドは中央に清流の流れるオムニ19面コートのある大きな会場でした。また、国体のプレ大会という事もあり、本部運営、チェアアンパイア、ボールパーソン（高校生）が元気に躍動しておりました。なお照明設備は無く仮設の足場が組まれておりました。

21日（金）は、32都市一斉に1回戦が行われ、去年優勝の豊島区、準優勝の横浜市も第一、第二シードで参加しておりました。

1回戦は、甲州市（山梨県）との対戦になり一般女子の加藤英佳・矢崎梓紗組が競り合いながらもタイブレークで勝利し、勢いに乗りベテランが奮起して勝利した。6本目、7本目の一般シングルの戦いになれば、勝敗は混迷したと思料いたします。

22日（土）は2回戦が行われ昨年準優勝の強豪横浜市の対戦となった。ここでも一般女子加藤・矢崎組がタイブレークで勝利したが、一般男子他ベテラン3組は敗退し打ち切りとなりました。一部隊列を乱す者が現れ困惑いたしました。結果全国ベスト16となりました。

会員方々より好意で多大なく寄付を頂き、また南部協議会、戸田市よりの遠征費用を頂き大変感謝申し上げます。また、資金面で大変お世話になった埼玉県テニス協会には直接赴きご報告いたしました。

また、来年に向け新たにチーム編成をし、全国を目指すチームを作り上げたいと思います。ご協力ありがとうございました。

文貴 横山